

FETISH GIRLS COLLECTION VOL.04



FETISH GIRLS COLLECTION



R-18
for adult

04

FETISH GIRLS COLLECTION VOL.04



FETISH GIRLS COLLECTION



R-18
for adult

04

艦娘は
兵器である

戦闘に備え急造された
彼女らはその身体の
60%以上が機械部品
であり人間として
定義されておらず

いかに健康で可憐な
少女に見えども生殖に
必要な機能を十分に
有してはいない

たとえ艦娘と
愛し合う関係に
なろうとも

彼女たちとの
セックスは
条約によって固く
禁じられており

避妊具を付けての
挿入さえも嚴重な
処罰が下される

その身体ゆえに
たとえ子を
宿しても死産は
免れないからだ

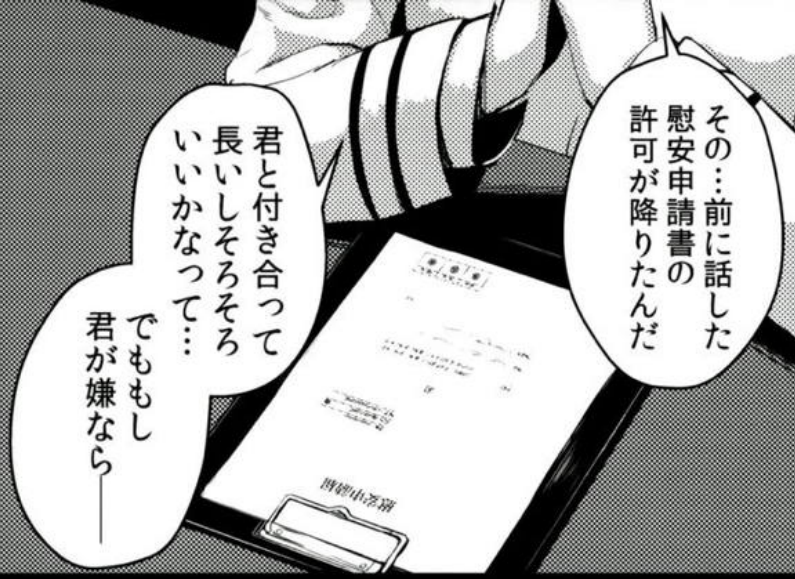
しかし
艦娘との同意の
もとであれば

失礼します

交接未満の行為に
ついては申請書を
提出することで
許可されていた

駆逐艦浜風です…

本日はよろしく
お願い致します…



その前に話した
慰安申請書の
許可が降りたんだ

君と付き合って
長いしそろそろ
いいかなって…

でももし
君が嫌なら



そんなに
かしまら
なくていいよ…
いつもみたいに
話そう

あ…ああ



…遠慮なさる
ことはありません

それは艦娘の
務めですから



提督

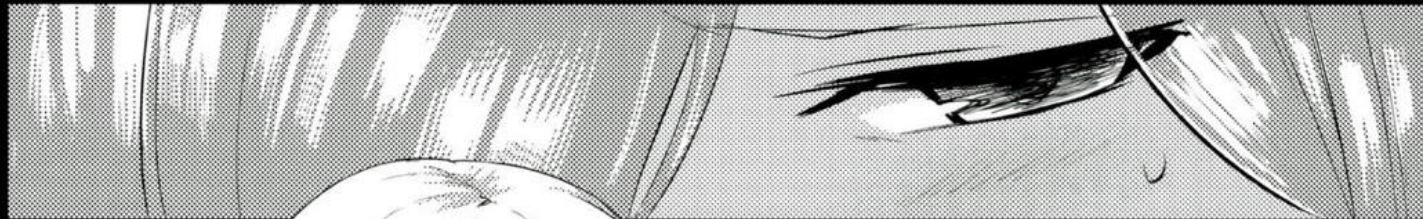


は…浜風…?
慰安なんて言い方
やっぱり嫌だよな…

でも僕は普通に
君と…その…
したくて…



はっ…
浜風っ…!?



どうぞ…

私を使って
下さい…







提督の
好きなように
して下さい…

ですから…



顔うずめて
見てもいい
かい…？



やっぱり
浜風の香り…

落ち着くよ…



じゃあ…
少し胸を
借りるね

浜風……こつち
触つてくれる
かい……？

はい……
奉仕させて
頂きます

奉仕だ
なんて
そんな……
君が嫌なら
今すぐやめる
から……

提督——

私は艦娘……
人に使われる
兵器なのです

兵器……
つまりは
モノです

なっ何を
言つて……！

モノに気を
使う必要など
ありません……っ

馬鹿なこと
言わないでくれっ
君のことそんな
ふうには——

失礼
しますっ……！

浜風ッ!?





その日から
浜風の様子が
変わった

お世話
致します…

自ら慰安申請書の
書名を求め
ようになつて

執務室へ来る
ときはいつも
下着を外している

毎日のように
僕を誘惑する
ようになった

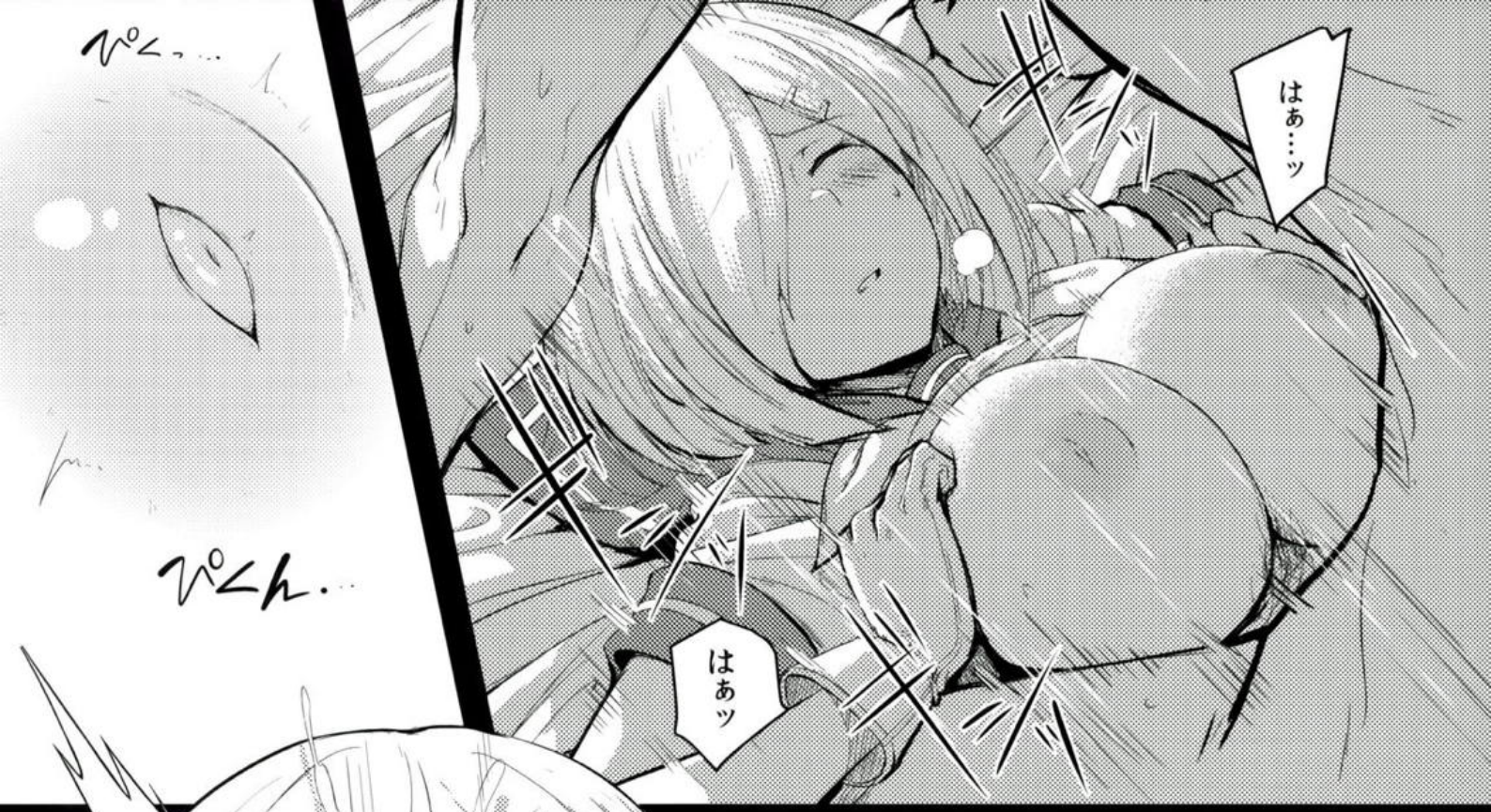
その理由を
聞いても決して
答えてくれる
ことはなく

ふうっ…

ふっ…

その上彼女は
優しく接される
ことを拒んだ

あくまで仕事で
あるかのように…
淡々と僕の吐精を
促す日々が続いた



はあッ

はあッ

ぴん...

ぴん...



くうッ!

そんな刺激
されたらっ
浜風っ...!

どろろ...
構いません...

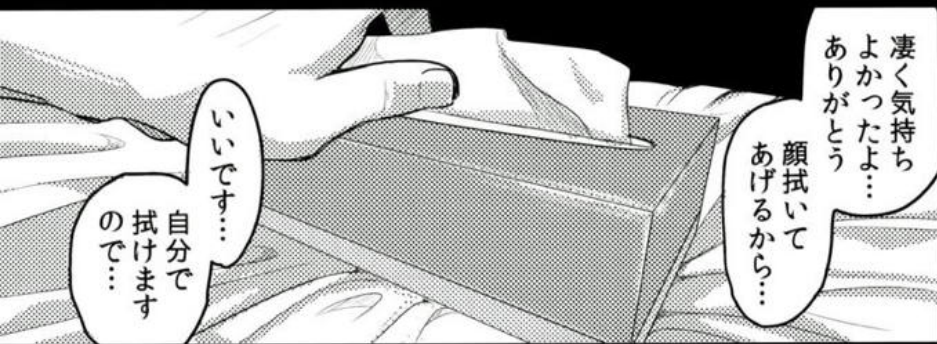
.....
ッ!



ごめんっ…!
とまら…ないっ

くうっ…!

……



凄く気持ち
よかったよ…
ありがとう

顔拭いて
あげるから…

いいです…
自分で
拭けます
ので…



はあ…っ

はあ…っ

……



なあ浜風…
これくらい
のことは…

気遣いは
不要です…



私のことは
いいからっ

だっダメですっ
提督が気持ち
よくなつて
くださればっ…

でも…
やっぱり艦娘が…
浜風がモノだなんて
見方は俺には
そうだ…
君のことも
気持よくして
あげたいな



大丈夫だよ…
俺に任せて
浜風…

そん…なっ
だめえ…っ

や…っ♡

ああ…っ♡

乳首出
きたね…

うう…っ





あ...あう

う...



浜風...
泣いてる...?

悪かった...
無理やりに
して...



それって
どういう...

ほんとには提督に...
こんな風に...
優しくされたく
なかった...っ
なのに...っ



浜風...?

ち...
違うん
です...

提督っ...
うっ...ひぐっ



そっ...そんな
ことはないよ!

俺はちゃんと
君のことが



だって私は
兵器だからっ...
どうしたって
人間と...あなたと
結ばれることは...

無いんです



そんなのっ...
言葉だけですっ...
こうして慰め合う
以上の関係には
なれません...っ

いつかきつと
提督にも素敵な
女性との出会いが
あるでしょう

子を作ることが
できない艦娘の私と
いるより

その人と幸せな
家庭を築くことを
選ぶはずで

私にはそんな
幸せをあなたと
共にすることは
できません

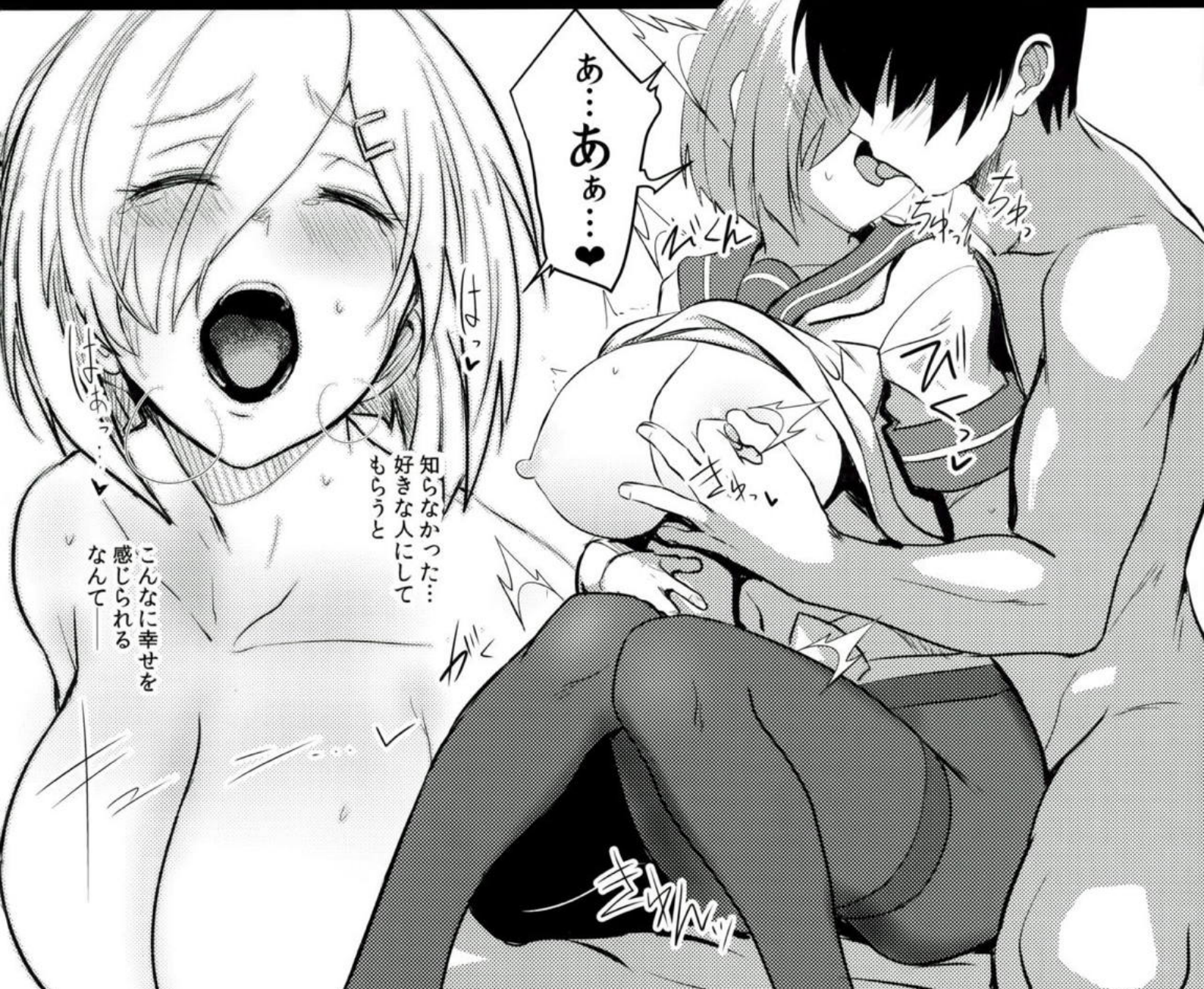
兵器である
私には…絶対に…

いつか提督の
そばに居られなく
なるのならいつそ

私はあなたに
使われるだけの
道具になりたいっ

だから
私に優しく
しないで…っ

切なくておかしく
なりそうなの…っ！



浜風...!

提督...!

ん...っ

んっ

提督の指...
キスも抱擁も
全部優しい...

そこ...触られるの
初めてなのに...
きちゃう...っ

んう...っ ♡

あ...あ...あ... ♡

知らなかった...
好きな人にして
もらうと

こんなに幸せを
感じられる
なんて

ぎゅっ



ごめん
浜風…

君がそんなに
悩んでいた
なんて…

僕には
浜風しか
いないよ

君はモノ
じゃない
僕が惚れた
一人の可愛い
女の子なんだ

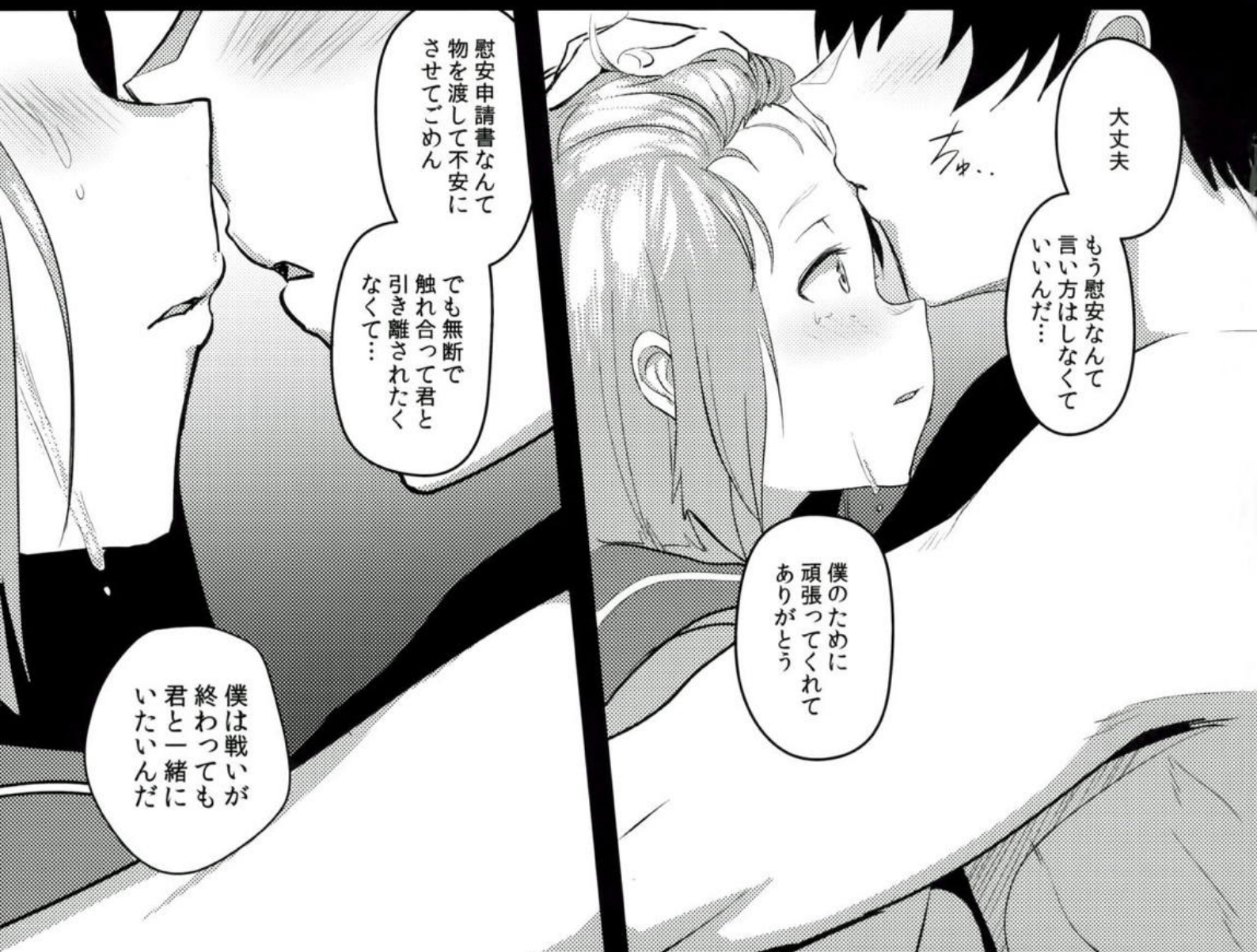


でも…
私とは子供を
作れませんよ…

その行為
すら…

浜風とずっと
いられるなら
僕は幸せだよ

ですが提督…
あなたが
望むなら…
今すぐ私を
犯して下さい
構いません…
慰安が私の務め
…だから…



大丈夫
もう慰安なんて
言い方はしなくて
いいんだ…

僕のために
頑張ってくれて
ありがとう

慰安申請書なんて
物を渡して不安に
させてごめん
でも無断で
触れ合っ君と
引き離されたく
なくて…

僕は戦いが
終わっても
君と一緒に
いたいんだ



では…

許されるの
ですか

私はモノ
でなく
人として

あなたを
愛しく想っても
いいのですか



って
浜風っ!?



もちろん
だよ

ああ



あなたへの
気持ち

抑えられ
ません…っ



お願いです
提督…

今から
見せる私を…

どうか
明日には
忘れて下さい…っ



ずっと一緒にいて……

すきっ
らいひゆきです……



ん……

んう……♡



それからの浜風は普段の冷静でしとやかな顔ではなく

情熱的に僕を求めて淫らに頬を染めていた

さわって……
くれますか……

いいよ……
今度は僕が
してあげる番だ

その姿が
可愛らしくて
愛おしくて

なおさら彼女が
兵器などでなく
一人の人間なのだ
と確信させてくれる

弄って……
てい……とく……
もつと……っ！

彼女が秘めていた
不安をほぐして
あげるように

切なそうに僕を
締め付けてくる
そこに指を
滑らせて

そこっ
気持ち……
いいですっ♡

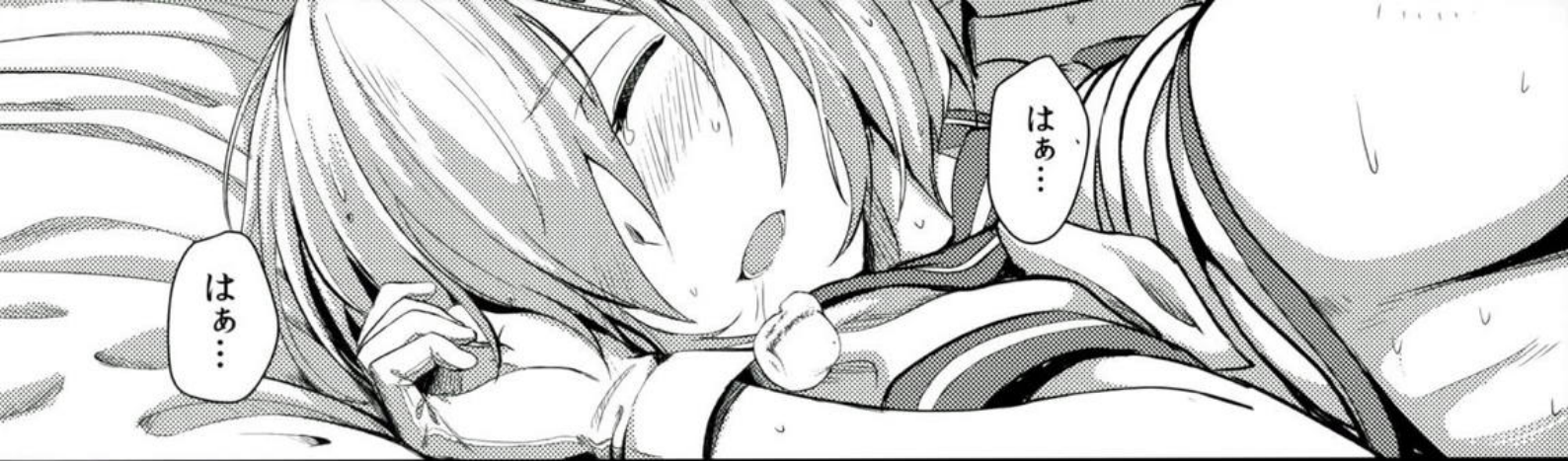
なんども
なんども

イク……

今まで僕にして
くれたよりも
たくさん彼女に
優しくした

……っ♡

あ……っ



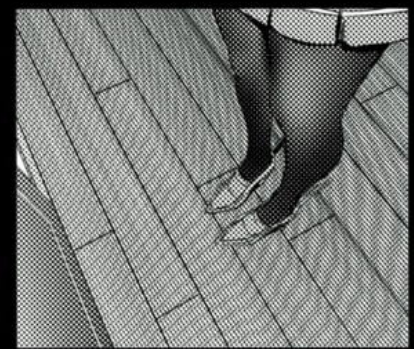
はあ…

はあ…



執務室

コン
コン



顔から火が
出そう

失礼…
します…



忘れて
下さいっ
忘れてっ…!

からかって
るんですか…っ!



おはよう
浜風
昨日は良く
寝れたかい?



あううう…っ!

今までで一番
可愛い浜風を
見られたんだから

それは無理な
相談だなあ…



…浜風

こつちへ
おいで



てっ提督っ
あなたという
人は!

はは
ごめん
ごめん

でもやつと
前の君に
戻れたようで
良かった



は…はい…

…?
?



あ…
慰安誓約書の
サインですね…

書きます…
もう私は
大丈夫ですから



そこに立って

いったい
なんですか
提督…?

あの…

ジーンと
見られると
恥ずかしいの
ですけれど…っ

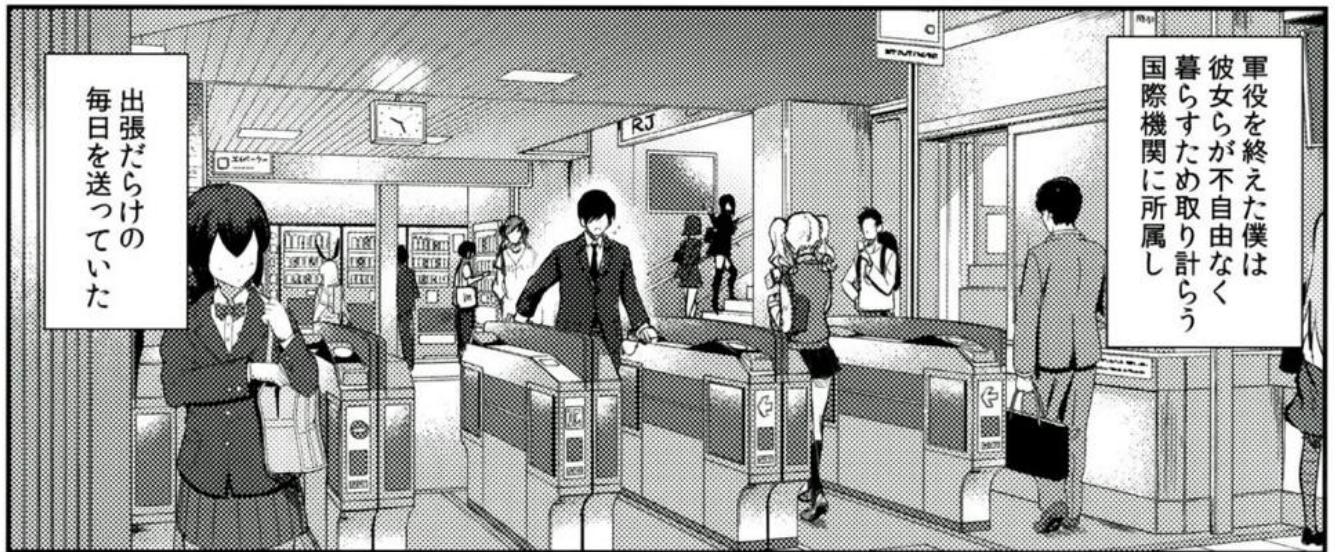




頑張りますね

お料理







ただいまっ!



あ...うう...っ



一人でも大丈夫—

ん...っ



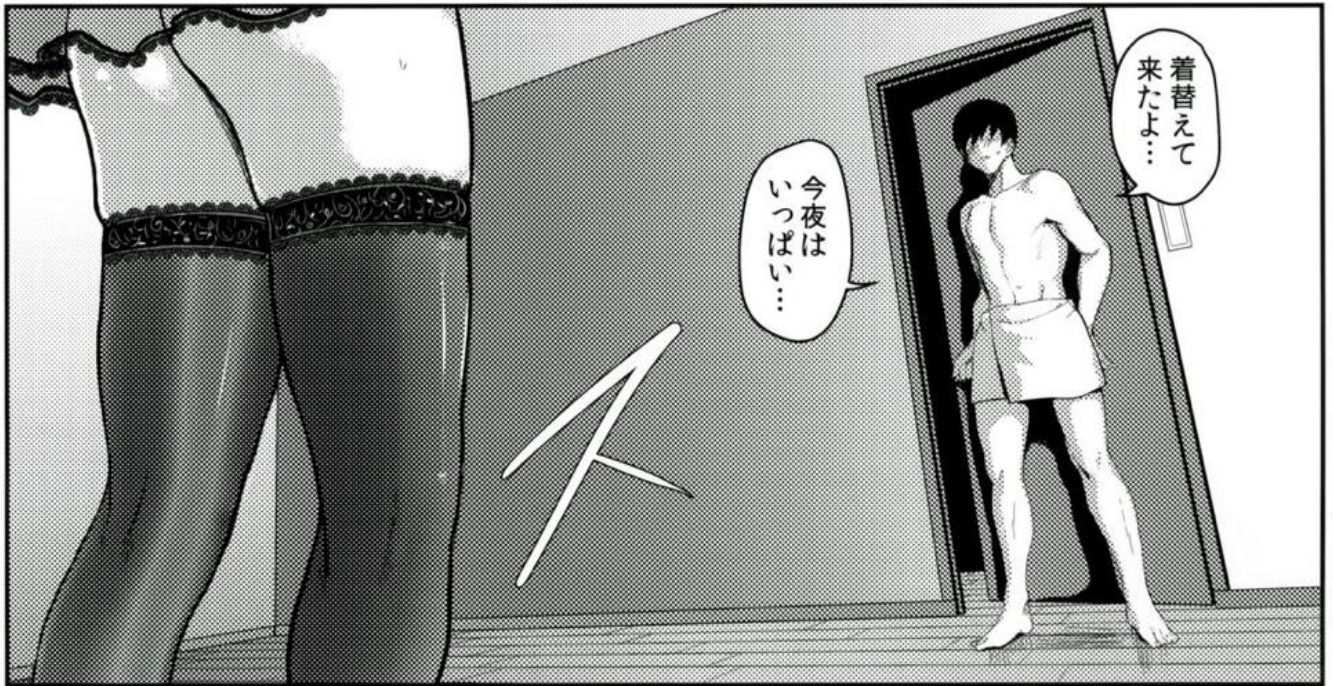
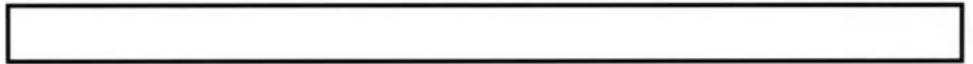
よしよし

一ヶ月も帰ってこれなくてごめんね...



おかえりなさいっ!!

ぱっ





お仕事で
お忙しいのは
わかっています…

でも他の人に
貴方を取られ
ないか心配
だから…

はっ…恥ずかしくて
死にそうだけど…っ
ちゃんと貴方を
惹きつけなきゃって…

浜風…
浮気なんて
しないよ

一人でする時
だつて君のこと
考えてた…

本当…?
嬉しい
です…♡



君とする時の
ためにそれも
我慢してたんだ…
もうはちきれ
そうだよ

ああ…♡

ギョ



ほ…
ほんとに
洗って
来なくて
いいの…?

私…これ以上
待てないです…
それに…

AL…

あなたの
濃いニオイ…
好きですから…♡









ご…ごめんなさい…
服…擦れるの…
気持ちよく…て…



浜風…

あ…う…う…

ん…ん…



ゴダ



私…あなた
より先に…
すいません…



あなたは…
提督はいつも
優しいですよ…

たまには提督に
いじめられて
みたいかも…です



そ…そうだね…
いけない子には
お仕置きだ…



な、なんて…
冗談だよ

少し
休もうか？





君が言うなら...

そのままご奉仕してもらおうかな

は...はい...提督...♡

は...もつと激しくしてこらん

は...は...

は...は...は...

浜風がイクところ見ていたいから我慢するよ...っ♡

そんな...あっ♡

私また...っ!

ほら...休んじゃだめだよ...

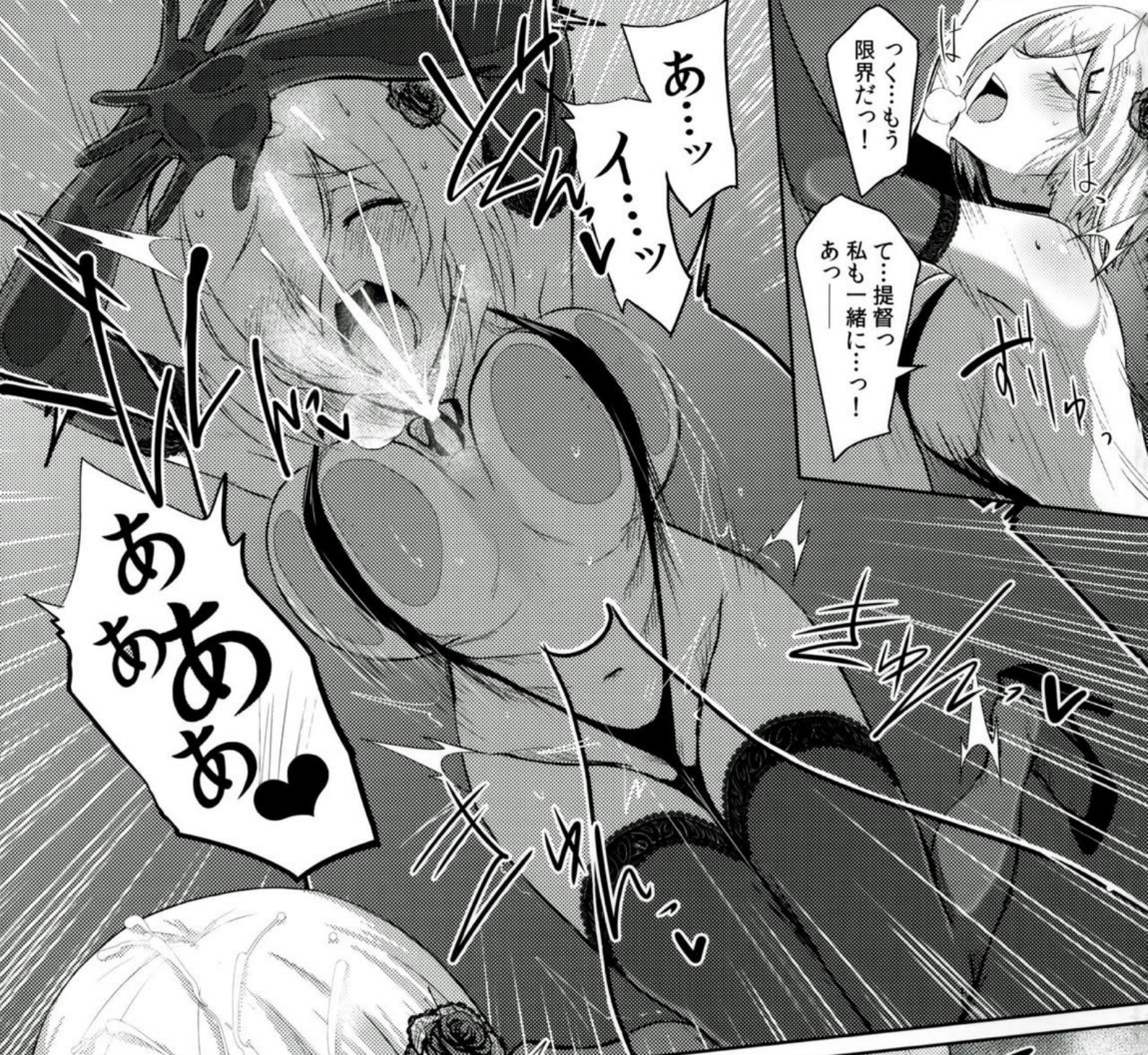
あ...乳首っ...だ...めですっ...だめへえっ♡

あっ

んうっ♡

あ...っ♡





あ…ッ
ん…ッ

つく…もう
限界だっ!

て…提督っ
私も一緒に…っ!

あ
あ
あ

きゅんん



ん…っ

ん…っ



あ…っ
だ…め…っ



浜風っ!!
くっ…!!



まだ…イッてる…
頭…蕩けて
しまいそう…♡

は…あ…っ

あ…っ♡

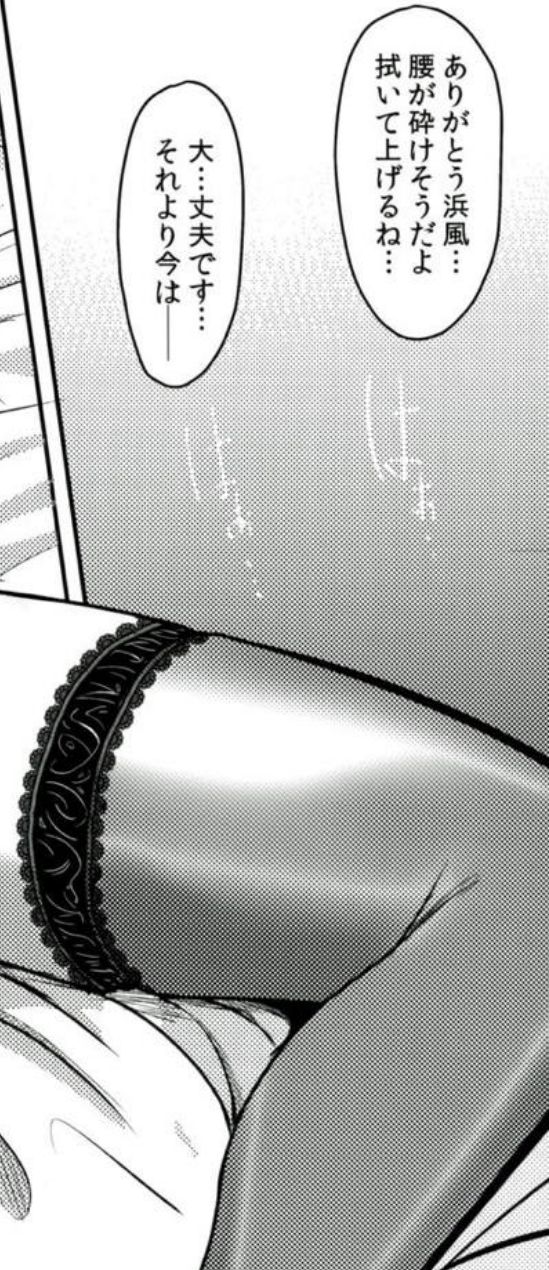


ん…っ♡



もつと
汚して…

ら…乱暴に…
されてみたい
です…



ありがとう浜風…
腰が砕けそうだよ
拭いて上げるね…

大…丈夫です…
それより今は…



わかった…っ
でも一つだけ
心配なんだ…っ

そんな風に
求められると
昔の…浜風を
思い出して…っ

君がまた…
悩んでるんじゃ
ないかって…っ



でも
本当は
提督を

諦められず
自棄になっていた
だけなんです



確かに私は…っ
あつ…あなたに
乱暴にされ
たかった…っ

そうすれば
自分が機械だつて…
割り切れるような
気がして…っ



あなたに
激しく求め
られたいの
私があな
たを激しく
求めてい
るから…っ

ですが…
それでも



それでも私は…
あなたと
繋がることは
できません

だからせめて
あなたの熱を

この肌で
感じたいのです



浜風っ…!

私はもう
大丈夫…

射精^だして
下さい…

私に

あっ…!!

…っ♡





あとがき

お世話になっております

本番シーン無し縛りで描いてみたいなあ
ということでこういうお話になりました
メカバレシーンとかもって
描きたかったのですがページ足らず...
Hシーンも描き足りないので
どこかでまた描き下ろしたいです
慣れないことに色々挑戦したので大変な一冊でした笑
まわるくん今回もアシスタントありがとう

次回はいつもの雰囲気です描きたいです

またよろしくおねがいします

うるりひ

それ着て
自慢のおっぱいで
挿んでやれば
メロメロじゃけえ...
♥

なんなの
これえ...っ



『ふえちこれ VOL. 04』
【発行日】2016/8/14
【発行イベント】C90
【発行者】自宅vacation/うるりひ
【印刷】スズトウシャドウ様
【pixiv】ID:706963
【twitter】@Ulrich_46
【HP】jitakuvacation.com
【連絡先】ulrich46712@gmail.com
本書の無断転載はご遠慮ください

ランジェリーショップにて悩める浜屋に
色々吹きこんでいた浦屋

おしりならセーフ

おっお尻で
エッチですか…!?

あなたと
繋がれるなら…
えと…その…

ま…前向きに
検討し…努力
します…

うあつ…
変な感じが
します…んうう♡

ん…♡
ほおう…♡
…はっ!?

違っ…
今のは…っ
いやあ…♡

あつやつと
提督とつ
あなたと
繋がってっ♡
んやあつ♡

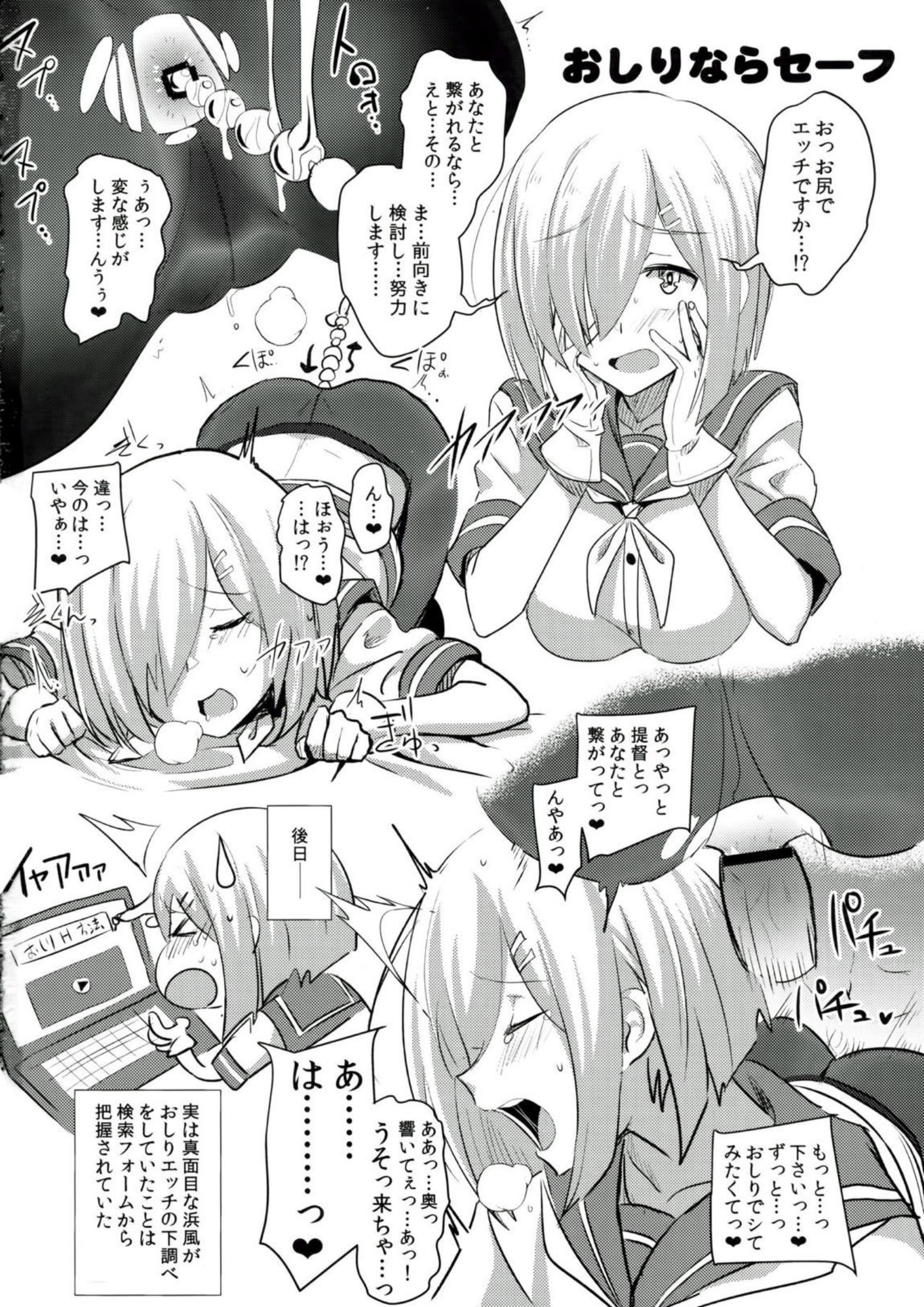
後日

もつと…っ
下さいっ…♡
ずつと…っ
おしりでして
みたくてっ♡

ああつ…奥つ
響いてえつ…あつ!
うそつ来ちゃ…っ

はあ…
…っ♡

実は真面目な浜風が
おしりエッチの下調べ
をしていたことは
検索フォームから
把握されていた





FETISH GIRLS COLLECTION VOL.04
おえちこれ
FETISH GIRLS COLLECTION VOL.04

Presented by 自宅vacation